

首都圏における鳥取県・秋田県共同ハタハタPRの実施について

平成24年11月28日
食のみやこ推進課
東京本部

ハタハタの主産地である鳥取県と秋田県が連携し、都内でハタハタPRを実施します。

1 秋田鳥取うまいぞ！ハタハタフェスティバル（共同PRイベント）

(1) 日時：平成24年12月1日（土）・2日（日） 両日午前10時～午後4時

(2) 会場：築地本願寺前広場（中央区築地3-15-1）

(3) 主催：鳥取県、秋田県、鳥取県産魚PR推進協議会、秋田県漁業協同組合

(4) 内容

- ・両県知事、さかなクン（山陰海岸学習館ギョギョバイザー）、加藤夏希（あきた美の国大使）によるトークショー（12月2日（日）のみ）
- ・両県ハタハタ料理（本県はハタハタ昆布メ井、一夜干し焼き、唐揚げ等）・特産品の販売
- ・両県伝統芸能の披露（因幡の傘踊り、なまはげ郷神楽）
- ・両県ハタハタの水槽展示
- ・鳥取県ブース（県観光PR等、鳥取市・岩美町観光PR） など

(5) その他

- ・東京メトロの協力により、築地駅とその周辺駅にポスターを掲示

2 秋田鳥取まるごと！ハタハタまつり（飲食店でのフェア）

(1) 期間：平成24年11月1日（木）～12月20日（木）

(2) 内容：首都圏飲食店40店舗における両県のハタハタを使った料理の提供
<両県ハタハタが食べられる店舗（6店舗）>

・帝国ホテル東京 ラ プラスリー

メニュー：はたはたのマリネ 食感の違う小玉葱を添えて
はたはたの備長炭焼き 濃厚な魚のスープを注いで

・笑龍[しょうりゅう] 渋谷西武店、笑龍 恵比寿店、中国飯店 代官山 花壇

メニュー：ハタハタの果実酢仕立て
ハタハタの中華風佃煮薬膳仕立て

・TRATTORIA CHE PACCHIA[トラットリア ケ パッキア]

メニュー：ハタハタと季節野菜のフリット

・カシ料理 くらち 新宿別館

メニュー：ハタハター一夜干しの炭火あぶり

<鳥取県のハタハタが食べられる店舗（17店舗）>

・稲田屋[いなたや]（日本橋店他首都圏6店舗）

・炉端かば（新宿西口本店他首都圏8店舗）

・季節料理 さん昇[さんしょう]

<秋田県のハタハタが食べられる店舗（17店舗）>

・秋田県アンテナショップ あきた美彩館他16店舗

3 昨年度の取組の成果

昨年度の首都圏飲食店フェアでつながりのできた食品問屋の株式会社日本産直市場（東京都）と県内水産物仲卸業者で継続して取引が行われており、本県産のハタハタをはじめとする鮮魚や水産加工品の取引の拡大につながった。

4 参考

秋田鳥取まるごと！ハタハタまつりチラシ（別添資料）

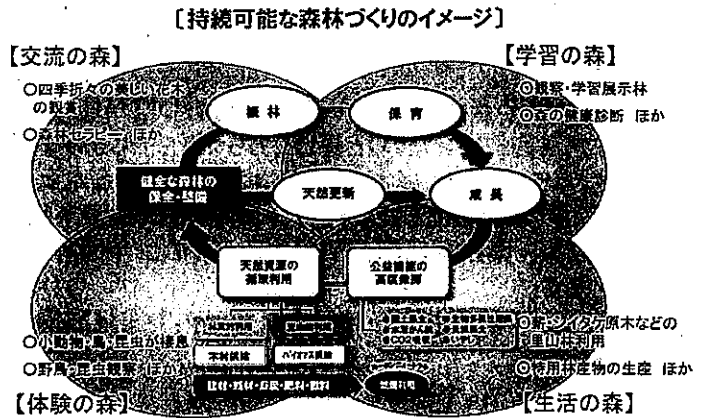
第64回全国植樹祭実施計画中間案（抜粋）

第1章 開催概要

1 開催方針

長引く木材価格の低迷、山村の過疎・高齢化の進行等により林業離れが加速し、全国的に手入れの行き届かない人工林が増加しています。

マツクイムシ被害の急速な拡大、里山の放置によるシカ等の獣害、放置竹林の繁茂、カシノナガキクイムシによるナラ枯れなど、森林としての機能が急速に失われつつあるなか、平成25年の全国植樹祭は、森林の機能を復活させるために、木材資源の循環利用を図りながら、県民全体で推し進める森林づくりのモデル林を整備し、「持続可能な森林づくり」を始める契機として開催します。



2 開催理念

平成23年に開催されたCOP17(気候変動枠組条約第17回締約国会議)において、平成25年から森林吸収量の算定手法に、新たに自国産の伐採木材製品に含まれる炭素量が認められることとなり、森林の果たすべき役割が益々重要となってきます。

このような中、平成25年に開催する全国植樹祭では、環境先進県「とっとり」の活動を県内外に発信し、今後更に森と親しみながら共生していく社会の実現を目指します。

環境先進県「とっとり」をアピール

3 県民運動について

第64回全国植樹祭の開催を契機に、県民、企業、ボランティア等の多くの皆さんが環境保全活動に取り組み、自ら行動する県民運動「とっとりグリーンウェイブ」の気運を醸成し、緑豊かな鳥取県から環境の良さを全国にアピールする県民運動として発展させ、県民運動の中心となる人々を「美鳥の大使」と位置付けます。

美鳥の大使による県民運動は、第64回全国植樹祭と同じ平成25年に鳥取県で開催される「第30回全国都市緑化とっとりフェア」「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」へと発展・承継させ、環境日本一の鳥取県を目指します。

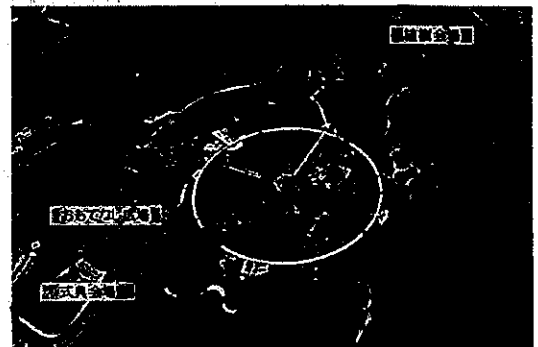
4 大会テーマなど

「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」



5 開催概要

開催時期 平成25年5月26日(日)
 主催 公益社団法人国土緑化推進機構・鳥取県
 開催規模 県外招待者1,500人、県内招待者3,500人、2,000人程度の県内協力者及びスタッフ等
 開催地 荒天の場合は、1,000人程度の招待者・スタッフ
 式典会場 とっとり花回廊(南部町鶴田)
 植樹会場 とっとり花回廊いやしの森(伯耆町小野)
 国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森(江府町鏡ヶ成)



第2章 式典行事計画

1 基本方針

- 豊かな自然や森林の役割、森・川・海のつながり、鳥取の自然の魅力や歴史、文化、産業を全国にアピールし、「また鳥取に行きたい」と感じてもらう構成とします。
- 多様なボランティア、子ども達、高齢者、障がい者など多くの県民や、大会に賛同いただいた企業等が参加できるよう配慮し、司会者、式典進行介添え役、式典音楽隊、アトラクション等の出演者及び演出家等については、地元をはじめ、県内関係団体や県内みどりの少年団等の協力を得ながら、鳥取らしく来場者を温かくおもてなしし、歓待します。
- 式典を通じて排出されたCO²を、鳥取県内で認証取得したJ-VERで相殺するなど、環境に配慮された手作りの式典とします。

2 式典進行プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
10:10	プロローグ	プロローグ案内	鳥取県の豊かな自然と、その自然に培われた歴史・文化・産業等を表現
		歓迎演出	
10:50		記念式典のご案内	
11:00	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	
		表彰	森林や自然を育み守ってきた緑化功労者への感謝として表彰
		苗木の贈呈	
		天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き	
		参加者代表記念植樹	
		大会テーマの表現	環境先進県とっとりが目指す森林づくり、「美しい国づくり運動」を発信し、大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を創造的に表現
		大会宣言	
11:50		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	
		天皇皇后両陛下 御退席	
12:00 12:20	エピローグ	エピローグ案内	未来へのメッセージを発信し、来場者参加型演出により会場全体を盛り上げ
		エピローグ演出	

※東日本震災復興支援を追加検討中

※鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰で3部門、40名程度を表彰

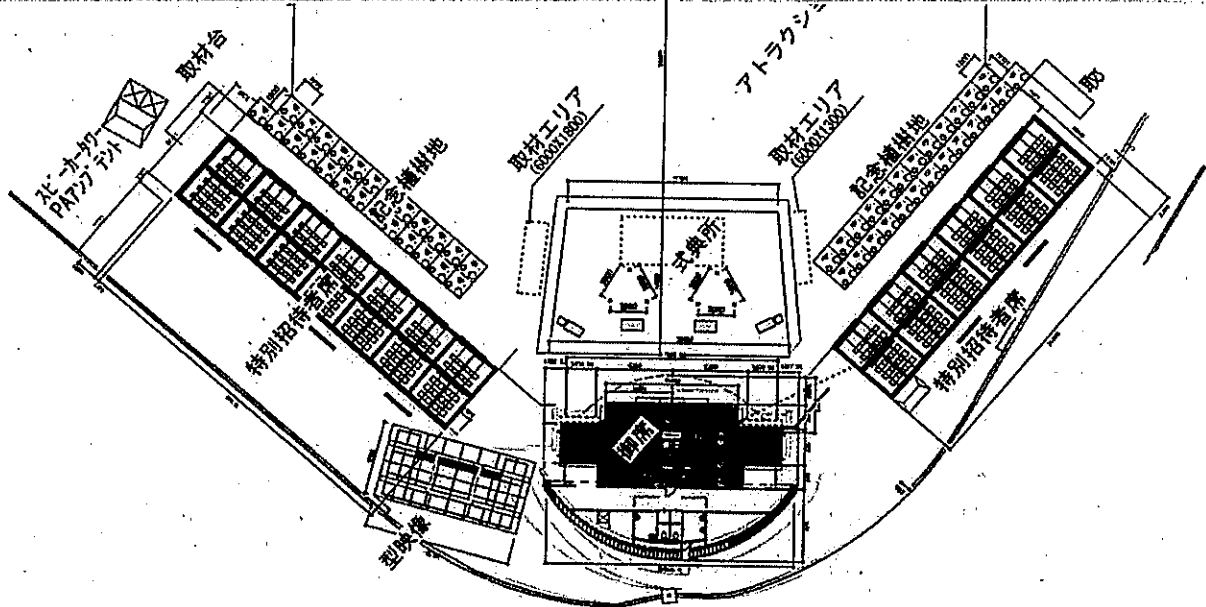
第3章 植樹行事計画

1 お手植え計画等

会場	位置	内容		面積	本数等
式典会場	お手植え所	お手植え	天皇皇后両陛下	—	6本
	お手播き所	お手播き	—	—	4種
植樹会場	中央・県外特別招待者席	代表者記念植樹	招待者の代表	—	50本程度 (50人程度)
	県内特別招待者席				
植樹会場	とっとり花回廊いやしの森	参加者記念植樹		3.4ha	4,500本
	奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森			0.4ha	500本

○樹種は、鳥取県の自然条件にあった在来の樹種の内、高木性を中心に県民に親しみのあるものから選定
 【お手植え樹種(6種)】 【お手播き樹種(4種)】

アカマツ(こまつばら)	スギ	ヨナラ	ヤマザクラ	ク
ヤマボウシ	ウツミズザクラ	ホオノキ	イロハモミジ	ヤマガキ



2 森林づくりの方向性と参加者記念植樹計画

●交流の森



●学習の森



●体験の森



●生活の森



○とっとり花回廊いやしの森で25種程度、国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森で20種程度の苗木を植樹し、4つの森を造成

○県外招待者は、記念式典開始前の午前中に植樹し、県内招待者は、午前・午後に分かれて植樹いただきます。
 (希望を調査するなど、柔軟に対応)

※とっとり花回廊いやしの森では、植樹祭開催後に自由植樹期間を設けるよう検討中

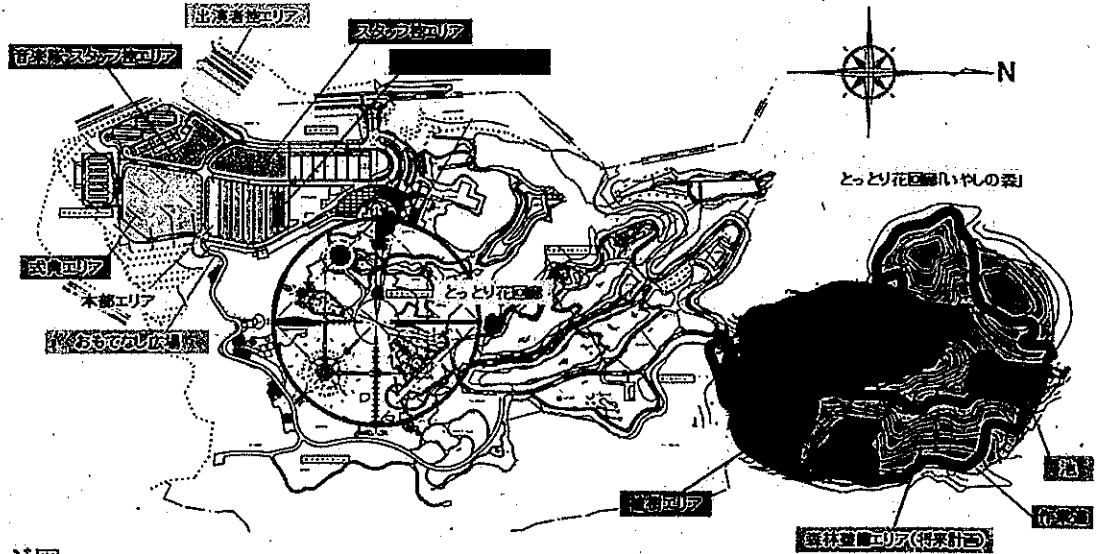
第4章 会場整備計画

1 基本方針

樹木の伐採、土地の掘削・造成など、自然環境に負担をかけないよう、今の地形を有効に活用し、経費の節減を図りながら整備し、出来るだけ跡地利用も考慮に入れた整備を検討します。

仮設物等の整備は、県産材をふんだんに使用し、木の香る会場づくりとします。

2 施設配置計画



式典会場イメージ図



3 主要施設計画

- 天皇皇后両陛下の御歩道はウッドチップにて仮舗装します。
- お野立所は、大空への飛翔をイメージした木製アーチ型架構を取り入れ、全国植樹祭開催後は、メモリアル施設として県民に親しんでいただくため、永久構造物としての強度と、屋外ステージとしての機能を持つ構造とします。
- 特別招待者席は、柱や幕板などの招待者から見える部分については、木材板にて化粧を施し、お野立所と一体感を図ります。
- ベンチ、プランター等の木製品には、間伐材などの県産木材を使用するなど、木の香る会場づくりとします。

4 飾花計画

- お野立所まわりは、とっとり花回廊のメインフラワーである「ユリ」と鳥取県の花「二十世紀梨の花」を中心に初夏を彩る草花でいっぱいになります。
- 会場内や沿道にプランターを配置し、11種類の花で彩ります。

第5章 運営計画

1 基本方針

○第64回全国植樹祭への参加者を観光関係者等と協力しながら「おもてなしの心でお出迎え」し、開催意義や理念を伝える機会とします。

○運営には、市町村、林業関係団体、NPO法人及び各種ボランティア団体など各団体の意向を踏まえ、しっかりと連携します。

2 招待計画

区分	人数	備考	
中央特別招待者①	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、林野庁長官、鳥取県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催市町長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長 等	
特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長 等
	県内特別招待者	200人	県議會議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小計②	420人	
一般招待者	県外一般招待者	1,250人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	3,300人	県内の森林・林業関係者、みどりの少年団の代表及び県内公募による一般県民等
	小計③	4,550人	
招待者小計(①+②+③)	5,000人		
本部長・協力員④	2,000人	実施本部長、出演者、運営ボランティア等	
合計(①+②+③+④)	7,000人		

3 招待者に配布する記念品等

全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、鳥取県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に発信するため、記念品等を配布します。

4 作品御覧・レセプション

(1) 作品御覧

緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第64回全国植樹祭ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

〔開催日時〕 平成25年5月25日(土曜日) 17:30～18:00予定

〔会場〕 両陛下の宿泊施設内

(2) レセプション

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第64回全国植樹祭の開催県として、招待者の来訪を歓迎懇親を深める場とします。

〔開催日時〕 平成25年5月25日(土曜日) 18:00～19:00予定

〔会場〕 両陛下の宿泊施設内

〔出席者〕 350名程度

- ・中央特別招待者（国務大臣、次期開催県知事・開催市長等）
- ・県外特別招待者（緑化功労者、代表表彰者、県選出国會議員）
- ・県内特別招待者（緑化功労者、県議會議員、市町村長、実行委員会委員等）

5 会場内動線計画

とっとり花回廊の植樹会場と式典会場の徒歩移動について、車イスでの参加の方については、別途移動方法について配慮します。

6 会場おもてなし計画

(1) 会場内のおもてなし

- 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置し、鳥取県の森林づくり活動や観光、県産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売の専用ブースなどを関係団体の協力により運営します。
- おもてなしステージでは、鳥取県を代表する歌や踊りの賑やかな演目を実施します。
- 特に県外招待者については、おもてなし広場への滞在時間が十分確保できるよう、輸送計画などを工夫して対応します。

(2) 会場外でのおもてなし

- 米子駅前のだんだん広場でのおもてなしブースなど、県外招待者や一般の方も楽しめる場を設けます。
※米子鬼太郎空港でのおもてなしも検討中

7 昼食計画

- 中央特別招待者の一部は、式典会場外に別途設ける会場において催される昼食会に参加していただきます。
- 弁当の内容等
 - ・鳥取県産食材を盛り込み鳥取らしさを実感できる内容にし、「食のみやこ鳥取県」を広くPRします。
 - 【弁当の愛称】 「食のみやこ鳥取県 森のめぐみ弁当」
 - 【主な内容】 ・鳥取県西部の郷土料理「いただき」
・「蟹ちらし寿司」
・「大山鶏の照り焼き」など

8 医療・衛生計画、消防・防災計画、警備計画

- 式典会場及び植樹会場に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- 消防防災部門と警備部門の連携を密にし、消防署、消防団、警察その他関係機関との協力体制を築きます。
- 式典会場入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。

9 実施本部計画

- 全国植樹祭の円滑な運営を図るための実行組織として、「第64回全国植樹祭鳥取県実施本部(仮称)」を設置します。
※6部22班で検討中

10 研修・リハーサル計画

- 円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
※先催県同様、式典リハーサル、総合リハーサル、前日リハーサルに加え、アトラクションの合同練習などを追加で計画

11 雨天時・強風時対応計画

- 雨天時対応マニュアルを作成し、雨天時や強風時にも円滑な運営ができるようにします。
- 式典アトラクションや音楽隊の演奏は、天候に応じ、各出演団体と協議の上、変更内容を決定します。
- 参加者全員にレインコートを事前に配布します。

第6章 宿泊・輸送等計画

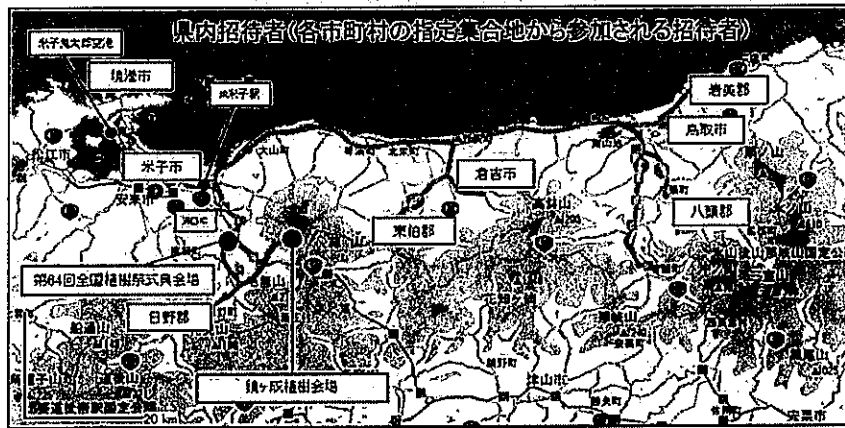
1 基本方針

- 式典前夜、宿泊参加者(主に県外招待者)は、原則として実行委員会が指定する、鳥取県西部地域の施設に宿泊いただきます。地域の方々には、食材や自然・文化・歴史などとのふれあいが図られるよう、おもてなし体制を整えていただきます。
- 式典当日、宿泊参加者は各宿泊施設から、当日参加者(主に県内招待者)は最寄りの集合地から、実行委員会が手配するバス等により会場へ移動します。
- 会場へのアクセス道路沿線では、地元市町村や関係者、地域住民の参加・協力を得て、美化等に努めるとともに、参加者を歓迎します。
- 県外招待者に対して、式典前日又は式典終了後の視察コースを設定し、鳥取県の森林・林業・木材産業や自然・文化・歴史に対する理解を深めていただき、観光振興も図られるよう取り組みます。

2 宿泊計画

- 関連行事である「第42回全国林業後継者大会」は、三朝町で開催されることから、この大会の参加者であり全国植樹祭の招待者は、原則「三朝温泉」に宿泊いただきます。
- 上記以外の式典参加者は、原則「皆生温泉、米子、大山地区」に宿泊いただきます。

3 輸送計画



関係車両一覧

参加者区分	輸送手段	台数	同乗者	備考
中央特別招待者	乗用車(ハイヤー等)	30台	接待員	出迎え、送迎、誘導、見送り
県外招待者	バス	50台	添乗員	各種案内・誘導
県内招待者	バス	119台	添乗員	各種案内・誘導
本部長・協力員 (実施本部長・出演者・ 運営ボランティア等)	バス等	47台	担当班員等	※出展者毎搬出入を 伴う場合はトラックを 手配
計	乗用車(ハイヤー等) バス	30台 216台		

4 視察計画

- 参加された方に、鳥取県が持つ様々な魅力・豊富な恵みを実感していただくことにより、『リピーター』になっていただき、全国で鳥取県をPRしていただけることを目指します。

主な視察候補地

エリア	
東部エリア	白兔神社・白兔海岸、仁風閣、智頭町森林セラピー体験、鳥取砂丘、山陰海岸ジオパーク
中部エリア	三徳山三仏寺『投入堂』、倉吉白壁土蔵群、鳥取二十世紀梨記念館、中国庭園『燕趙園』
西部エリア	とっとり花回廊、天山樹水高原、天山寺周辺、植田正治写真美術館、大山王子森ウオーキング、境港、水木しげるロード、妻木晩田遺跡、上淀鹿寺跡

第7章 荒天時式典計画

1 会場

米子コンベンションセンター（鳥取県米子市末広町294）

2 参加者一覧

区分	内訳	人数(人)
中央特別招待者	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等	30人
県外招待者	国会議員、中央省庁、中央団体、受賞者等	350人
県内招待者	県議会議員、実行委員会委員、受賞者等	320人
本部員・協力員	実施本部員、出演者、運営ボランティア等	300人
計		1,000人

3 荒天時運営計画

- 晴天会場の式典次第から「プロローグ」「エピローグ」部分、記念式典のアトラクションおよび参加者代表記念植樹を除いた構成とします。
- 式典音楽は、事前収録した音源やCD等を使用します。
- 式典の時間は、50分程度とします。

参加者入場	
11:00	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等
式典	
11:10	天皇皇后両陛下御到着 開会のことば 国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下御退席
参加者退場	